

# 人のくらしと流域

これからの環境保全と持続可能な利用

学ぶ。くらしと自然の未来。

## 第32回 岐阜シンポジウム

GIFU SYMPOSIUM VOL.32 2016

2016.6.18 土 13:20-16:00

[会場] じゅうろくプラザ 大会議室(5F)  
岐阜市橋本町1丁目10番地11

定員240名

入場  
無料

要事前申込 以下のメールアドレスよりお申込み下さい。  
✉ [gfsympo@gifu-u.ac.jp](mailto:gfsympo@gifu-u.ac.jp)

申込締切日 6月15日(水)

私たちの日々のくらしは、森林や河川などの自然環境から、きれいな水や新鮮な空気や農作物など、多くの恩恵(生態系サービス)を受けています。その一方で、こうした自然環境は、時に私たちに脅威をもたらすこともあります。私たちは、豊かな自然の恩恵と脅威の中で、どのように生きてきたのでしょうか。

このシンポジウムでは、人がくらす「流域」の過去・現在・未来の姿を様々な科学的視点から浮き彫りにすることによって、森と水と人との関わりの「これまで」と「これから」を皆さんと考えます。

主催/国立大学法人岐阜大学・流域圏科学研究センター 共催/清流の国ぎふ 防災・減災センター

### PROGRAM

- 13:00 開場
- 13:20 開会挨拶 ————— 福士 秀人 岐阜大学研究担当理事・副学長
- 13:25 開催趣旨説明 ————— 粟屋 善雄 岐阜大学流域圏科学研究センター長
- 13:30 招待講演「近代からポスト近代へー流域社会の崩壊と再生ー」  
竹村 公太郎氏 NPO法人日本水フォーラム代表理事・事務局長
- 14:30 休憩10分
- 14:40 「岐阜の森と水 研究から見た過去、現在、未来の姿」  
————— 粟屋 善雄 流域圏科学研究センター教授 センター長
- 15:05 「地図と地形から読み解く岐阜の川の流れと水害」  
————— 児島 利治 流域圏科学研究センター准教授
- 15:30 「いま進みつつある気候変動への適応に向けた岐阜の取り組み」  
————— 原田 守啓 流域圏科学研究センター准教授
- 15:55 閉会挨拶 ————— 村岡 裕由 流域圏科学研究センター教授
- 16:00 閉会

学ぶ。くらしと自然の未来。

# 第32回 岐阜シンポジウム

## GIFU SYMPOSIUM VOL.32 2016

### 近代からポスト近代へ —流域社会の崩壊と再生—

竹村 公太郎氏

NPO法人日本水フォーラム代表理事・事務局長

江戸時代、日本人のアイデンティティは流域社会の中で育まれてきた。明治、日本は一気に近代に向けて走り出した。その近代化の特徴は流域社会を崩壊させ、大都市に集中し、経済社会を膨張させることでなし遂げられた。この近代は国土の多様性を失い、国土の不均衡を招いてしまった。

未来の日本はどこに向かっていくのか？21世紀の今、江戸時代から近代への変身を振り返り、ポスト近代の日本文明の姿を模索することが求められている。

### 岐阜の森と水 研究から見た過去、現在、未来の姿

栗屋 善雄

岐阜大学流域圏科学研究センター長

終戦後、岐阜では森林が荒廃して山地から土砂が流出していましたが、現在は清流を取り戻しています。一方、地球温暖化は生態系に影響すると危惧されています。では、人間活動や気候の変化はどのように森林や河川に影響するのでしょうか？

技術革新によって森林の精密な観測が可能になり、水質の浄化技術が高度化しています。これら最新の技術などを利用して得られた研究成果を紹介し、今日生じている森林と河川水の変化について考えます。

### 地図と地形から読み解く岐阜の川の流れと水害

児島 利治

流域圏科学研究センター准教授

皆さんが今いるところは昔どのような土地だったのでしょうか？昔の地図を見ると色々な事が分かってきます。岐阜市のメモリアルセンターが建っている辺りは、昭和26年に締切工事が完了するまでは古川という川でした。その頃の堤防はどこにあって、どこが街だったのでしょうか？大雨が降ったとき、当時はどのような水害が発生したのでしょうか？

明治から昭和にかけての岐阜市の水害事例を地図と地形から読み解き解説します。

### いま進みつづける気候変動への適応に向けた岐阜の取り組み

原田 守啓

流域圏科学研究センター准教授

このまま地球温暖化が進むと、近い将来、気象現象はどのように変化し、私たちの生活にどのような影響を与えるのか。これを予測し、その影響を最小化しようとする全国的なプロジェクトが始まっています。

岐阜では、岐阜大学と岐阜県がタッグを組み、これから将来にかけての気候変動と地域社会の変化を見据えて洪水や土砂災害のリスクがどのように変化していくのか、私たちはどんな対策をとることが可能なのか、考え始めています。

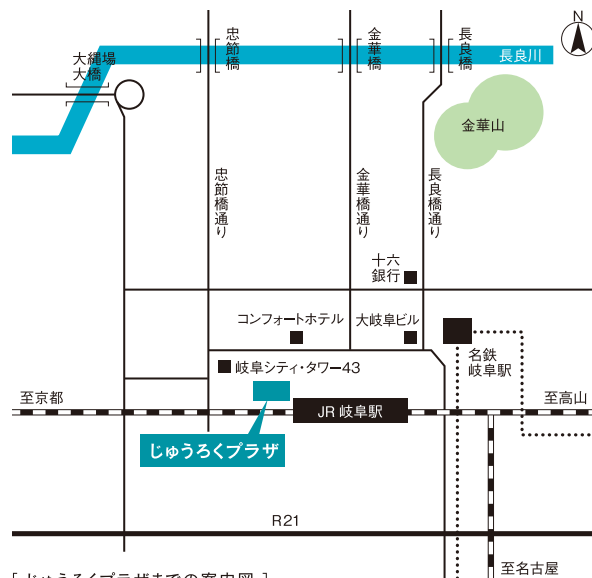
# 2016.6.18 土 13:20-16:00

入場無料

[会場] **じゅうろくプラザ大会議室(5F)**  
岐阜市橋本町1丁目10番地11

要事前申込 以下のメールアドレスよりお申込み下さい。  
✉ [gfsympo@gifu-u.ac.jp](mailto:gfsympo@gifu-u.ac.jp)

申込締切日 **6月15日(水)**



[じゅうろくプラザまでの案内図]



主催 国立大学法人岐阜大学・流域圏科学研究センター  
共催 清流の国ぎふ 防災・減災センター  
後援 岐阜県、岐阜市、高山市、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、国土交通省・木曽川上流河川事務所



国立大学法人  
**岐阜大学**

国立大学法人 岐阜大学 学術国際部 研究支援課  
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1  
TEL.058-293-2195 FAX.058-293-3209  
✉ [gfsympo@gifu-u.ac.jp](mailto:gfsympo@gifu-u.ac.jp)